

平成26年度 第1回湖西市文化財保護審議会議事録

- 1 日 時 平成26年12月11日（木） 午後1時30分～午後2時50分
- 2 場 所 湖西市民会館 3階大会議室
- 3 出席者 委 員 渡辺 和敏委員 跡見 厚夫委員 吉村 理利委員
平野 克典委員 牧野 茂委員
事務局 山下 宗茂（教育長）
後藤 建一（文化課長） 切池 融（文化課課長代理）
尾崎 正浩（文化財係主任）
- 4 議 題 報告事項 ①平成25年度文化財事業報告について
②平成26年度文化財事業報告について
③その他
- 5 公開・非公開の別 公開（傍聴人なし）

【報告事項】

①平成25年度文化財事業報告について

※平成25年度事業報告について事務局より説明

（委 員）文化財調査事業のなかで、個人住宅の発掘というのはどの辺りなのか、また北裏遺跡の場所はわかるが、北裏とはなにをさして北裏とっているのか。

（事務局）個人住宅の建て替え等に伴う調査で、すべて新居地区である。埋蔵文化財の包蔵地に指定されているところは住宅を建てる際に事前に確認することになっており、県に許認可がある。県の指示に従って試掘や立会い等を行った上で、遺構に影響がないか確認している。

次に北裏であるが、新居の西町から国道1号に繋がる道路（浜名線）の敷設付近の遺跡で、小字が遺跡名になったと考えられる。西町から国道1号までに連なる部分の北側（棒鼻近辺）を試掘しており、遺跡としてはどうも2つの部分があったと聞いている。南側は砂丘状になっていたようで、奈良時代の須恵器が出ている。北側は谷になっているようで、鎌倉～近世の橋本宿の時代と考えられる。

（委 員）関所整備事業の社会資本整備で行った柵形・高札場の整備は国の補助が約4割となっているが。

（事務局）文化庁の補助事業だと国が6分の3、県が6分の1、市が6分の2ということになるが、柵形整備は文化庁の補助事業ではないので、約4割が国の補助となっている。社会資本整備事業は関所整備だけでなく、湖西市のいろんな事業が合わさった事業で、その対象経費の4割が国の補助ということになる。25年度に行った柵形・高札部分は指定地外の保存整備のため文化庁事業では行えなかったため、社会資本整備事業を利用して整備した。

(委員) 追加指定はどうなっているのか。

(事務局) 追加指定は今年度行った。現在、大御門の整備を行っているが、大御門もその一部が指定地になっていただけなので、これでは補助が出ないということで追加指定を行って文化庁の補助事業として整備しているところである。

(委員) 関所史料館の入館者が初めて3万人を切った原因と、旅籠紀伊国屋のおひなさま展の期間中の入館者がどれくらいあり、どれだけの効果があったのか。

(事務局) 独断これといった理由も見当たらないが、しいていえば天候に大きく影響したのではないかと考えている。年初めには雪が降ったり、夏は猛暑だったことが影響したのだろうと考えている。

今年度は、今の状況だと3万人を超えるのではないかと推測している。今年度は11月末時点で昨年度より2,300人くらい多いので、このままだと3万人を回復すると考えている。お雛さま展の入場者は30日の会期で1,441人だった。

(委員) 入館者の割合で見るとほぼ一割ということは特に多いというわけではない。二川宿本陣資料館の場合は、ひな祭り展の入場者が多い。

(事務局) 長年行っているなのでこの時期になると紀伊国屋でもお雛さま展を行うことが皆さんに浸透しているのではないかと考えている。

(委員) 二川と連動しているとか、例えば入場券をセットにするとかの考えは。

(事務局) 今のところ考えていない。

(委員) 無料にしたら、もっと入るんじゃないか。

(委員) 無料は大きい。二川の例で言うと11月の大名行列が無料で、これが人数的に大きい。有料だと新居のほうが多いかもしれない。

②平成26年度文化財事業報告について

※平成26年度事業報告について事務局より説明

(委員) 事業報告とは関係しないかも知れないが、手持ちの古文書資料で虫食いとかが和紙が劣化しているものはあるのか、またその対応は。

(事務局) 関所史料館の収蔵資料は保存状態がわかっている。しかし寄贈してもらった資料だと、中を開いてみる機会が無いので状態はわからない。ただ、関所史料館で保存しているので劣化が進んでいるとは考えていない。また個人でお持ちの資料は市のほうでは把握できないが、たまにそういう相談を受けることがある。

(委員) 劣化がひどいものは大事なものだけでも裏打ちなどをしておかないと部分的にどこかにいってしまうこともあるのでお聞きした。予算のこともあると思うので、そんなには出来ないとは思いますが。

(事務局) 正直なところなかなかそこまでは手が回らない状態である。

(委員) 天然記念物の諏訪神社のケヤキだが、新居中学校の登校坂の上にあり、かなり腐食が進んでおり、登校中に木が落ちてしまうのではないかと心配している。早めに手当てをしておかないといけないと思っている。

(事務局) 状況を確認し、適切に対応したい。

(委員) 市内の説明板が新居地区と湖西地区とでは形態が違っているが、いまから全体的に統一するのも無理があると思うが気になる。また本興寺の説明板の文字が薄くなっており、どうにか対応しないと文化財に対する市の姿勢が問われかねない。

(事務局) 説明板については前回の委員会でも指摘があったが、タイプが違うものを統一するのは難しい。これから設置するものは統一するように進めているが、予算的にも厳しいものがある。本興寺の場合はほとんど文字が見えないので何らかの対策をとっていきたい。立派なものでなくても、長持ちのするものでいいのではないかと思っている。

実は25年度に市内の説明板の悉皆調査を行った。どこが管理しているのか問い合わせなどがあり、文化課として責任を持って管理しているものを明確にするために調査を行った。今後は状態をみながら悪いものから直していききたい。

(委員) それでいいと思う。10年計画くらいで年次計画をたてて直してもらいたい。

(委員) これはその他になるかもしれないが、個人的な意見として、年2回くらい審議会を開催してもいいのではないかと思っている。湖西市全体のことわからないし、文化財を回る機会もないので、臨時会議でもいいので、湖西市の文化財にどういう問題があるのか意見を出してもらおうとか、文化財の候補を出してもらってもいいのではないかと思っている。すぐに文化財に指定するのではなく、こういうものが候補になりうるのではないのかというものを持ち寄ってもらい、この次はこれを調査してみようというように、年2回でもいいので時間を長くとってももらってもいいし、できれば年3回くらい開催してもいいのではないか。来年度から少し検討していただけたらと思っている。

(事務局) 今年度はもう一回関所史料館の運営委員会があり同じメンバーでもあるので、以前湖西市で作ったリストをもとに検討材料として活用したいと思う。

③その他

※特別史跡の追加指定について事務局より説明

※駒澤大学考古学研究室による神座古墳調査について事務局より報告

(午後2時50分 終了)